

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 JQ

上場会社名 日本精密株式会社

コード番号 7771 URL <http://www.nihon-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡林 博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 田崎 政己

TEL 048-225-5311

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	961	△24.2	△36	—	△40	—	△48	—
21年3月期第1四半期	1,268	91.3	△7	—	1	—	13	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△3.86	—
21年3月期第1四半期	1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,589	931	35.4	72.02
21年3月期	2,700	934	34.1	75.69

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 916百万円 21年3月期 919百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,050	△22.0	△123	—	△122	—	△125	—	△9.96
通期	4,956	△0.9	113	△21.2	119	△20.7	113	164.5	9.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

連結子会社であります株式会社アルマックは、平成21年6月30日の同社株主総会におきまして解散決議をしております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	12,923,999株	21年3月期	12,352,571株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	201,749株	21年3月期	200,892株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	12,443,474株	21年3月期第1四半期	9,789,934株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年の秋以降、急速に悪化した景気は一部に景気底入れの兆しは見えるものの、雇用情勢は依然厳しく、設備投資も低迷しており、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは経営目標達成に向け売上の増加と利益の増大に注力してまいりましたが、消費低迷による売上減少の影響は避けられず、結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は961,772千円(前年同期は1,268,856千円)、売上総利益は254,596千円(前年同期は320,003千円)、営業損失は36,058千円(前年同期は営業損失7,846千円)、経常損失は40,207千円(前年同期は経常利益1,284千円)、四半期純損失は48,090千円(前年同期は四半期純利益13,525千円)となりました。

各事業のセグメント別の売上高は次のとおりです。

時計バンド事業は554,580千円となり、前年同期比268,115千円減少しました。その内、スイスの高級時計メーカーへの売上は、ヨーロッパの景気後退に伴い、著しい減少があり286,269千円の減少となりました。国内大手メーカーからは、当社、ベトナム子会社及び中国の提携先との密接な協力に基づく開発提案力、コスト競争力、生産力、品質管理力等の総合力を評価され、香港支店でのG-Shock、MT-G、Baby-G、G-msモデル等の金属バンド及び金属樹脂コンポバンドの受注の増加と、ベトナム子会社での時計部品及びIP加工用金属バンドの受注増加があり、18,154千円の増加となりました。メガネフレーム事業は312,425千円となり、前年同期比51,604千円減少しました。その他事業は、携帯電話機部品の売上があり売上高が94,766千円となり、前年同期比12,635千円増加しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における総資産は2,589,717千円となり、前連結会計年度末と比べ110,931千円減少しました。このうち、流動資産は、1,732,177千円となり、3,478千円減少しました。これは主に現預金の増加93,652千円、売上債権の減少59,789千円、商品及び製品の減少30,634千円などによるものです。固定資産は、857,539千円となり、107,452千円減少しました。これは主に、仕入先からの差入保証金の返金などによる敷金及び保証金の減少103,792千円、固定資産の減価償却による減少28,372千円などによるものです。

負債合計は1,658,511千円となり、107,387千円減少しました。流動負債は1,441,609千円はとなり、104,458千円減少しました。これは主に仕入債務の減少113,015千円、短期借入金の減少27,558千円などによるものです。固定負債は216,901千円となり、2,929千円減少しました。これは主に、社債の償還による減少40,000千円、転換社債型新株予約権付社債の転換による減少40,000千円、長期借入金の増加78,641千円などによるものです。

純資産は931,205千円となり、3,543千円減少しました。これは主に資本金の増加19,999千円、資本剰余金の増加20,000千円、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少48,090千円などによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下資金という)は、前連結会計年度と比較して、93,352千円増加し449,905千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は100,550千円となりました。減価償却費28,372千円の計上、売上債権の増加59,789千円、たな卸資産の増加49,923千円、また仕入先からの差入保証金の返金などによる敷金及び保証金の減少103,792千円などがありました。一方、税金等調整前四半期純損失46,146千円(前連結累計期間は税金等調整前四半期純利益15,642千円)の計上、仕入債務113,015千円の減少などがありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は16,046千円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出18,423千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は7,704千円となりました。当第1四半期累計期間において、長期借入により100,000千円を調達する一方、短期借入金の減少と長期借入金の返済が合わせて50,067千円、社債40,000千円を償還しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成21年5月20日付にて公表致しました業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 原価差異の配布方法

標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(追加情報)

「株式会社ジェンコからの借入金一括返済請求に関する合意」について

当社は、主要株主である筆頭株主の株式会社ジェンコより、総額400,000千円の借入金について返済期限の経過後も返済の猶予をいただいておりますが、一括返済するよう平成21年5月7日付け書面に請求を受けておりました。

当社としては今まで同様資金支援を受け、返済可能な内容での分割返済となるよう交渉してまいりました結果、平成21年6月25日付け開示「株式会社ジェンコからの借入金の返済交渉に関するお知らせ」の通り、合意に到りました。

合意書の概要は次の通りです。

1. 借入金の返済日について、平成21年6月25日より平成22年6月24日（1年間）までに延長することについて合意する。但し、株式会社ジェンコは日本精密株式会社の事業継続を支援するとの理念に基づいて、別途、書面による合意がなされた時は、前記の返済期限をさらに延長することができる。
2. 合意書締結日より返済日の間は、原契約による遅延損害金が発生しないものとする。
3. 前文にかかわらず、日本精密株式会社は、安定的な事業運営に支障を来さない範囲内で可能な限り、借入金の期限前弁済を行うよう努力するものとする。

退職給付引当金について

当社は、確定拠出年金法の施行に伴い、平成21年5月に退職給付制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	455,205	361,552
受取手形及び売掛金	447,492	507,281
商品及び製品	209,763	240,397
仕掛品	359,581	375,114
原材料及び貯蔵品	190,737	194,494
立替金	32,562	27,131
その他	41,231	35,992
貸倒引当金	△4,396	△6,308
流動資産合計	1,732,177	1,735,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	218,911	218,512
機械装置及び運搬具（純額）	233,555	242,636
工具、器具及び備品（純額）	43,582	43,955
土地	123,614	123,614
建設仮勘定	70	—
有形固定資産合計	619,734	628,719
無形固定資産		
借地権	172,586	173,924
その他	3,483	3,163
無形固定資産合計	176,069	177,087
投資その他の資産		
投資有価証券	37,586	31,883
敷金及び保証金	22,026	125,819
その他	30,676	33,762
貸倒引当金	△28,553	△32,278
投資その他の資産合計	61,735	159,185
固定資産合計	857,539	964,992
資産合計	2,589,717	2,700,648

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,567	473,582
短期借入金	686,864	714,423
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	82,086	83,236
賞与引当金	32,544	16,994
未払法人税等	4,678	10,077
その他	174,869	147,755
流動負債合計	1,441,609	1,546,068
固定負債		
社債	—	40,000
転換社債型新株予約権付社債	—	40,000
長期借入金	122,064	43,423
繰延税金負債	148	233
退職給付引当金	83,047	82,251
その他	11,641	13,922
固定負債合計	216,901	219,830
負債合計	1,658,511	1,765,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,875	1,470,875
資本剰余金	1,473,980	1,453,980
利益剰余金	△2,005,751	△1,957,660
自己株式	△40,212	△40,169
株主資本合計	918,892	927,026
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,686	△7,276
評価・換算差額等合計	△2,686	△7,276
新株予約権	15,000	15,000
純資産合計	931,205	934,749
負債純資産合計	2,589,717	2,700,648

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,268,856	961,772
売上原価	948,853	707,175
売上総利益	320,003	254,596
販売費及び一般管理費	327,849	290,655
営業損失(△)	△7,846	△36,058
営業外収益		
受取利息	994	63
受取配当金	1,479	1,305
為替差益	4,835	—
金利スワップ評価益	3,304	—
助成金収入	—	5,214
雑収入	10,663	2,761
営業外収益合計	21,277	9,345
営業外費用		
支払利息	11,557	3,025
為替差損	—	9,796
その他	588	672
営業外費用合計	12,145	13,494
経常利益又は経常損失(△)	1,284	△40,207
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,396	5,028
前期損益修正益	11,960	3,121
特別利益合計	14,357	8,150
特別損失		
遅延損害金	—	14,035
固定資産除却損	—	53
特別損失合計	—	14,089
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	15,642	△46,146
法人税、住民税及び事業税	2,116	1,943
法人税等合計	2,116	1,943
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,525	△48,090

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	15,642	△46,146
減価償却費	27,161	28,372
のれん償却額	2,306	—
金利スワップ評価損益(△は益)	△3,304	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,535	△5,637
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,394	795
受取利息及び受取配当金	△2,473	△1,369
遅延損害金	—	14,035
支払利息	11,557	3,025
為替差損益(△は益)	△509	△1,143
売上債権の増減額(△は増加)	△18,521	59,789
たな卸資産の増減額(△は増加)	44,083	49,923
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	—	103,792
仕入債務の増減額(△は減少)	55,914	△113,015
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,813	15,549
その他	32,236	△4,229
小計	159,976	103,742
利息及び配当金の受取額	1,640	3,170
利息の支払額	△7,092	△2,141
法人税等の支払額	△3,033	△4,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,490	100,550
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300
定期預金の払戻による収入	25,000	—
有形固定資産の取得による支出	△9,747	△18,423
投資有価証券の取得による支出	△599	△1,198
貸付けによる支出	△3,300	—
貸付金の回収による収入	150	3,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,502	△16,046
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△78,949	△27,558
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△52,509	△22,509
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
設備関係割賦債務の返済による支出	△2,093	△2,183
株式の発行による収入	100,000	—
自己株式の取得による支出	—	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,552	7,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	509	1,143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,950	93,352
現金及び現金同等物の期首残高	137,472	356,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	227,422	449,905

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	822,695	364,029	82,131	1,268,856	—	1,268,856
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	822,695	364,029	82,131	1,268,856	—	1,268,856
営業利益又は営業損失(△)	67,309	△60,433	△14,723	△7,846	—	△7,846

- (注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。
 2 各事業区分の主な製品
 (1) 時計バンド事業……………チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品
 (2) メガネフレーム事業…………チタニウム製フルリムフレーム、チタニウム製ナイロルフレーム、ツーポイントメガネフレーム及びメガネフレーム用部品
 (3) その他事業……………釣具用部品、電子ロック、電子機器用部品、自動車用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	554,580	312,425	94,766	961,772	—	961,772
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	554,580	312,425	94,766	961,772	—	961,772
営業利益又は営業損失(△)	△2,515	△34,767	1,223	△36,058	—	△36,058

- (注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。
 2 各事業区分の主な製品
 (1) 時計バンド事業……………チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品
 (2) メガネフレーム事業…………チタニウム製フレーム、チタニウムと異素材のコンジットフレーム及びサングラス
 (3) その他事業……………携帯電話機用部品、釣具用部品、電子ロック、電子機器用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:千円)

	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	925,990	342,865	1,268,856	—	1,268,856
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	23,200	418,985	442,185	(442,185)	—
計	949,191	761,851	1,711,042	(442,185)	1,268,856
営業利益又は営業損失(△)	△34,010	26,166	△7,843	△3	△7,846

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア……中国・タイ

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:千円)

	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	581,093	380,678	961,772	—	961,772
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,552	189,560	216,113	(216,113)	—
計	607,647	570,239	1,177,885	(216,113)	961,772
営業利益又は営業損失(△)	△66,912	30,977	△35,934	△124	△36,058

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア……中国・ベトナム

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:千円)

	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高	501,805	357,364	859,169
II 連結売上高	—	—	1,268,856
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	39.5	28.2	67.7

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

ヨーロッパ……スイス・ドイツ・フランス・スペイン

アジア……中国・タイ

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:千円)

	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高	203,930	592,931	796,861
II 連結売上高	—	—	961,772
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	21.2	61.7	82.9

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

ヨーロッパ……スイス・ドイツ・フランス・スペイン

アジア……中国・韓国・タイ

(6) 株主資本の著しい変動があった場合の注記

平成20年11月6日に発行いたしました第4回無担保転換社債型新株予約権付社債につきまして、当第1四半期連結累計期間において4個（571,428株）の権利行使が行われました。この結果、資本金が19,999千円、資本準備金が19,999千円増加し、当第1四半期連結累計期間末において資本金が1,490,875千円、資本剰余金が1,473,980千円となっております。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	334,539	△41.2
メガネフレーム事業	54,872	△34.3
その他事業	75,779	+9.2
合計	465,190	△35.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 金額は、販売価格によっております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	520,611	△32.4	953,324	△23.9
メガネフレーム事業	280,281	△34.1	172,783	△26.3
その他事業	105,225	△20.2	49,953	△55.1
合計	906,118	△31.8	1,176,060	△26.4

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	554,580	△32.6
メガネフレーム事業	312,425	△14.2
その他事業	94,766	+15.4
合計	961,772	△24.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
RADO WATCH CO., LTD.	426,380	33.6	147,121	15.3
カンオ計算機株式会社	77,961	6.1	70,827	7.4
CASIO COMPUTER(HK) LTD.	137,360	10.8	171,249	17.8
CASIO ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.	48,410	3.8	50,291	5.2
CASIO(THAILAND) CO., LTD	90,957	7.2	82,380	8.6

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。